

賀春 ゆり北

書 加賀谷 陵 雲

第69号(7期第8号)

新春特集号

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話 03 (938) 9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝



新春雑詠

五号棟 村上小雪

福茶濃く つがれ我が家 恙なし

愚作なる 一句をのせて 初日記

水ぐきの 跡も床しき 年賀状

初刷りの 天皇一家 笑み給ふ

初買ひは 孫へそれぞれ 土産かな

七号棟 小川希代

今年また夢あらたなり初日の出

年毎の幸初富士を仰ぎ見る

昨日とはちがう笑顔を初鏡

夢いっぱいの新しい年を

自治会長 吉柳俊孝

新年号の「あいさつ」と云うと
どうも固いきまり文句になってしま
う。書き手も面白くないし、読
む方はもっと面白くないと思うの
で「初夢」でも書こうと思った。

しかし、夢というのには、追いか
けられていくとか、車のブレーキ
がきかなくなったとか、そんな
「悪夢」しか縁のない私である。

心安らかな時は、横になると五
分もしないで寝入ってしまい、朝
までそのままだ多い、夢が入り込
む余地がない。

しかし、「見たい夢」となれば

また別であろう。出来そうもない
ことを考えれば良いのだから。

一、シルクロードの下真中の草原
で昼寝をしたい。

一、ヒマラヤの万年水でオンザロッ
クを作って飲んでみたい。

いやいや、本心は唐の都の時代
にさか上って酒池肉林の世界にひ
たりたいのかな。

でもやっぱり、日本の山々を歩
き、麓の温泉(混浴の露天風呂に
限る)につかって、一杯やっつい
るのが一番現実的かな。勿論その
時は自治会はお休みさせて下さい。

私のホビー

文化展出品作品エピソード

ステップ爺岳ハイキング

四号棟 西村 勇

一昨年、山菜狩りに参加した時に地元穂高中学校の植物に詳しいK先生と知り合い今回は、七五歳の老人からたくましい中年女性も多数、教え子の高校生七人八人も参加し大変にぎやかなツアーでした。

爺ヶ岳の名称は、春の種まきの季節になると雪が消えた黒い岩肌が爺さんの姿となって現れるところから由来すると言われています。

コースは、黒部ダム入口近くの扇沢の合合から柏原新道、種池平小屋、爺ヶ岳です。当日は、小雨降るほどどガスのかかったあいにくの天気。逆に花は、雨にぬれて美しいコース全体に花が咲きみだれ、サンカヨウ、シラネアオイ、種池平付近には、チングルマ、コバイケソウも、シラビソの樹林を通り、ハイマツの樹海を登ると一時間たらずで頂上です。キバナシャクナゲ、コケモモ、コマクサもある。



は無理と諦めていたとき、ガスの切れ間から針の木岳が見えて来た。欲を出してもう少し待って全景を撮ろうとしたが、すでにかくれてその姿はもう再び見られなかった。

二回目は、種池小屋に着き、剣、立山を写真に撮って裏を振り向くと爺ヶ岳が頂上を見せていた。ファインダーをのぞくと小屋の端が入るの

で少し下に降りた数秒間でガスに隠れ、だめ。

三回目の一番悔しい思いは、ほとんど他の植物を寄せつけない礫地で強風の中に転々と咲く美しいピンクの花、高山植物の女王「コマクサ」水滴をつけてふるえている花を撮ろうと慎重にかまえて、シャッターを押したらフィルム切れ。あとの後悔なんとやらで残念。フィルムは余分に持っていたこと。瞬間ひらめいたら、ケチらないでシャッターを押すこと。チャンスは二度とないと自分に言い聞かせた爺ヶ岳ハイキングでした。

卓上静物

十三号棟 黒田 清子

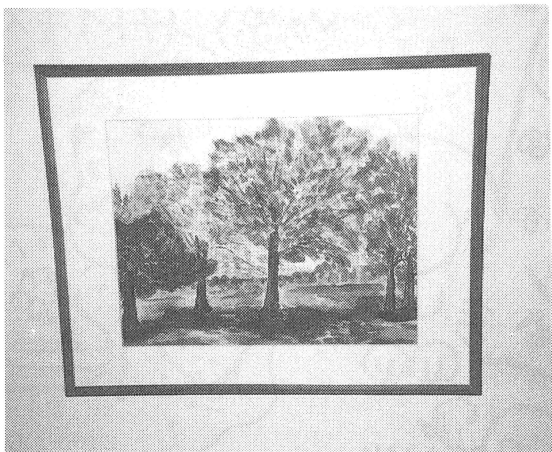
この絵は一九八九年度の板橋区美術展の入賞作です。最初からそれを目標にして製作したものですから、相応のイメージ、構図、色彩など、ずいぶん研究しました。まずはモチーフ集め、顔だけのお人形はずつと前にアトリエJAMで買ったものを分

解した陶磁製。セロファンの袋に入った裸のお人形と船の模型は成増のクレーンドクルで前々から見つけておいて今回の絵のために調達。小さなガラスびんは小二の娘が男の子からプレゼントされた星の砂。ガラスのかたまりもありがとう。使わしてもらったよ。模様を消してしまっただけの卵。画面からとうとう消えてしまったラピスラズリの指輪。バックは夜空に、いやカーテンがいいかなとか、試行錯誤の連続で楽しくも、もう懐かしい一ヶ月の日々でした。

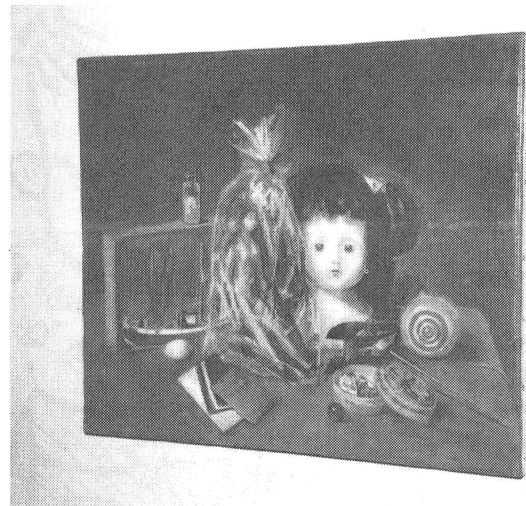
水彩画「光が丘公園」

五号棟 津田 英俊

光が丘公園芝生広場の美しく紅葉した一本のけやきを中心、黄色に染まっていたいちょう、そして遠くには旭町のアパートが見えます。これが、私の頭の中に出来上がった構図でしたが、そのように見えますでしょうか。



写真左 津田氏「光が丘公園」



写真上 黒田氏「卓上静物」

一家四人が、ゆり北に引越きて、早いもので七年目。この絵は、息子が転園して、来年はいよいよ新入学という頃描いた作品です。息子の新しく出来た友人も、この絵の画面の近くにおいて、二人で一所けん命に風をあやつっています。

「風」のこと

8号棟 鈴木 祥二

私の父が、生前このグラントハイツで働いていたことを思い出しながら、この絵を描いたような気がします。(正直言って、私は、引越したその日、涙が出たのです。)

正月の光の中で、明日に向かって、一日一日を大切にしたいと思っています。



鈴木氏「風」

我が郷里の正月へ向う

十号棟 岩淵 豊

正月の良いところ・・・強いて言えば、田舎に帰って少しのんびりできることでしょうか。

正月、東京の空は驚くばかりにきれいななり、三が日は、またそれまでの騒々しさが嘘のように静かになるのだと言います。わが家は、少しばかりそれに協力しているのかも知れません。

年末、わが家は一路田舎めざして走っている車の中にいます。そして大概、高速道路の大渋滞に巻きこまれ、イライラを味わうのです。ある年など、百キロの大渋滞のど真中にいて身動きのとれなかった事がありました。そんなにしないで・・・と思われるかも知れませんが、私にとつて「帰省」は、親・兄弟とお互いの無事を確かめ合う大切な行事なのです。特別何を話し合う訳ではないのですが、顔を見るだけで安心を覚

えをするのもやはり遅く、この写真も他の仲間是一日で仕上げたのに、私は一日半かかりました。また今年もサークル展がありそうです。張り切って白い画用紙と向き合いましょう。

文人華・文人盛物

十号棟 竹内 竹朝

文人華は、南画の禅精神にもとづいています。文人盛物も同様です。自然美を尊び、詩的な精神を表現しようとした花が、文化華であり、季節のくだものや、やさい等を、詩境ゆたかに盛合せたものが、文人盛物なのです。

文人華・文人盛物には、必ずといってよいくらい「雅題」があり、花や、盛物の雰囲気や、使った材料によって、雅題がきまります。そして自然を生けることに重点をおくことから、三本の枝、五本の枝を使っても、全く一本の幹のように活けて見せる。そこに自然の美しさをかもしだすのです。

ようするに、植物の自然の姿を失わないということです。

えるのですから、血のつながりと言うのは不思議なものです。さて、東北道も白河を越えるあたりから何となく東北の顔を見せはじめます。福島を過ぎて、少しずつ渋滞が解消し始めると、運転にも余裕がでてきます。田舎に近づくせいでしょうか、それぞれのドライバーが優しい顔に戻るように見えるものこの頃です。何せ渋滞が始まるものなら、目をつり上げ肩をいからせ路肩を我が物顔にとばす車が必ずいるのですから。そんな時、ああ、まだ都会の時間を背負っているのだなあと思ってしまうのです。そんな彼らも田舎に近づくにつれ運転までが優しくなるようです。東京は忙しすぎます。せめて正月だけでも心にゆとりを持ちたいと思うのは私だけでしょうか。

洋裁ひとすじ

二号楼 片岡はる江

私の好きなものに洋裁があります。家の中の仕事が一歩ありますのにそれは後まわし、何かしら布地をいじって作り上げ一人ご満悦です。それが年を取るといろいろの点で億劫になります。買ってあった布地はそのままだるばかりです。それでも娘は気が向いたら縫ってね、と勝手に買って来て帰ってしまいます。根が好きなのですから直ぐに今秋流行のチョッキとズボンを作り上げました。「あれ返してね、文化展に出品するんだから」……と私。

「アイロンかけてでも出品するの」……と娘。結局はその残り布で私のズボンを作り出しました。今迄にただ一つ残念なことがあります。娘のウェディングを作る積もりがとうとう出来なかったのです。母親だけの世帯で娘を嫁がせる時のむづかしさです。



もう一つ私は子供の頃から植木類が好きでした。小石川植物園によく遊びにいき、そこで取った実生の七センチ位の楓のそのナヨナヨした茎を軽く結んで鉢に植えました。或時気付いて見れば結んだ場所はそのままだ、幹の太さは一・五センチ高さは

お正月なんていららないぞ

八号楼 坊野 秀美

日本という国は不思議な国で、師走に入ったとたんに、もうほとんど息をつく間もないほど、誰もが忙しくなります。ふだん別に怠けているわけでもないのに、仕事に怒濤のごとく押し寄せてきます。おまけに、やれ忘年会だ、やれ打ち上げだ、年末パーティーだと、夜のおつきあひもほぼ連日。心も体も休まる暇がありません。

それもこれもお正月がくるからで、新しい年を迎えるために、めったやたらと多忙に振り回されるのが、日本のお父さんの現実です。お母さんだって、お父さんに負けず劣らず忙しい。で、夫婦ともに神経がささくれだち、師走は夫婦げんかが一年中

目になんとか咲かしたいです。寿大学園芸部に入ったのも一つはその原因もあります。先日文化展に出品した盆栽らしいもの、あれは天津に住む息子の近くの山から取って来た実生の赤松の苗木です。五、六年が経ち野放図に拡がったものを先生が適当に剪定し針金をかけて下さったものです。二、三年後には立派な盆栽として通るでしょう。私は実生の苗木がそれなりの手入れ等して成長するのが楽しみです。今私の手元には正月用の梅、松、竜のひげの寄せ植えがあります。来年度お正月用には学校で材料を注文してあり、作るのは十二月です。御用済みの今年のお正月用だったのはバラバラにして梅松竹が各々の鉢に植ってあります。その他には小品ものが十ヶ位あります。

盆栽ならずとも花の鉢植類は皆好きです。春になればボケ、海棠、沈丁花、椿、月下美人等々 花が咲けば嬉しい限りです。

くれるのです。なぜ百八つかというと、煩惱によって人は四苦八苦するから、4×9+8×9=108、というのですが、あんまりアテにはなりません。それで、一夜が明け、元旦になると、まったく生まれ変わった気持ちで、また一年が始まるというわけです。「再生」ですね。

だからお正月は「めでたい」のです。その「めでたい」お正月を迎えるために、師走は死物狂いの騒ぎを演じなければならぬ。心穏やかなお正月を迎えるためには、仕方のないことかもしれない。が、今の正月は昔と違って、全然お正月らしくない、と思いませんか。



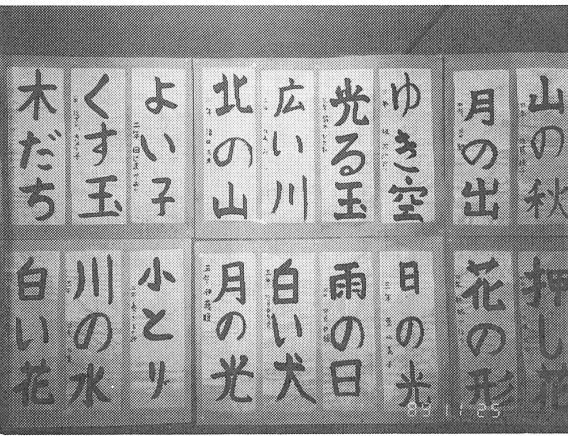
七づくし

四号楼 小川 希代

「七生七歳七草粥を食む」私にとつて「初孫は五十七年七月二十七日生まれで七生と名付けました。幸い健康で平成二年の正月を迎えます。七草を始めとして七月七日の七夕など七の付く行事や習わしは実に多い。

人生の最初にお七夜。次に七五三を祝い昔は男女七歳にして席を同じゅうせず。更に女子は色の白いは七難かくすと美人の条件になりました。無くて七癖・七転び八起き。本所の七不思議。〇〇の七ツ道具・七福神・親の七光り・虹の七色・七十七歳で喜寿の祝い・一週間は七旺のくり返して人生の最後の区切りは初七日より数えて供養をします。七階に住む我が家の電話は二〇一七番であり七生の他に日は一月二十七日でAは四月十三日・Mは十二月三日・私は十一月二十三日生まれですので全部合計すると九十三となり百に七不足と

なんていらぬ、と力なくつぶやいてしまふのです。この年になると、お年玉だってだれもくれないし……。でもまあ、なにはともあれ、お正月であります。おめでとうございませう、のご挨拶だけは申し上げることにいたしました。



なります。とここまで書いて気が付いたのですが私の誕生日を除けば丁度七十になります。これはどう考えたら良いのでしょうか？ 間違っても新年早々年寄りのひがみはいけません。何事も善意にお目出たく生きる事と自分自身にいいきかせて新春を迎える事にしました。



夢

十四号楼 有泉 徳子

私はよく夢を見ます。以前は白黒で暗い細いまがりくねった道を、走れないで困っている様な所をよく見ました。でも今はカラーで見ます。なにかの本で読んだ事がありますが、その方も、よくカラーで見るとの事でした。ぐっすりねた時は、色あざやかで、きれいで、いつまでも見ていたい様な所を見ます。若い時子供が小学校のころ、遠足についていてお花畑を、手をつなぎ、歌を唄いながら、きれいな花を取ろうとして

も手が動かないので困ったり、山が紅葉しているの登って行こうと思っても、足が前に出なくて、もがいている、こんな夢は夜明け近くに見ます。うとうとしてよくねつかれない様な時、ぼんやり、うすく、戦争で若い人達が招集され、日の丸の旗を、持って、軍服を着た兵隊さんが敬礼している所を、悲しく涙をこぼしながら、見ている自分の姿など見ます。夢は毎日替わって見ます。年を取った今、悲しい暗い夢は見たくありません。楽しく明るい夢を今夜も見たいと思います。

晩秋に思う

四号棟 島 原 公 子

光が丘公園は四季の中で晩秋がいちばん詩情にあふれているように思う。

寒さに追われて人の群れが姿を消した公園の森は、北風と裸樹と小鳥の天国だ。

その寂寒とした停まいがいい。

紅葉に染まった樹々は葉を落とし裸で寒風に立つのがいい。天を突く公孫樹の雄姿も期待通りだ。

また、日陰のつつじの群れが未練がましく赤茶けた葉を残し、真っ赤な椿が緑陰の中で炎えるように花咲いてはと心うたれたりする。

弱い陽差しをうけた透明な冬枯れの林の中を冷たい外気に逆いながら無念無想になって歩く時の、独り歩きの気儘さを贅沢に享受するのもこたえられない。

一枚の絵のようにゆっくりと静止している風景。風のない穏やかな空



にチイと鳴く鳥の一声。木製の円テーブルとベンチのセットで老人が日向ぼっこをし、学生が座って居たりする。それもいい。

広場一面に敷きつめられた落葉の絨氈の上をカサコソと音をさせて踏む時の柔らかな心地いい足下の感触も楽しい。足元に眼をやると無数の落葉は小さなモザイク模様を作っている。

光っている。見惚れていると突然数メートル先の方で羽音がし、二、三十羽の小鳥達が一世に空に向かって飛び立ち円舞しながら築山の向こうの雑木林へと飛び去る。こんな穏やかさが好きだ。

北風の日の公園もいい。風に吹かれてなんでものじゃない。体の芯まで冷え込む寒さを歩くのだ。すると何千何百と散り敷いた落葉達が一陣の風に誘われる様に広場の上を駆け出していくのに出会うだろう。北風小僧の唄にあわせて南へ跳ね西へ飛び戯れる落葉たちはやがて旋風の合図で一斉に大空に向かって舞い昇っていく。小さな鳥になって飛翔する落葉の

第二回自治委員会を開催

12月3日

十二月三日、第三回自治委員会が開催されました。師走に入り多忙なためか、出席者は十九名と少なく残念でした。

カモウオッチングでもいろいろのは、エクリプス(繁殖羽に換羽、雄がきれいになる)、ヘアリング、ディスプレイ(求愛行動)と生態がかわると、春がきたなあと実感できること。

もうすぐお正月。よいお年をお迎えください。

公園にいるよ 9 オカヨシガモ

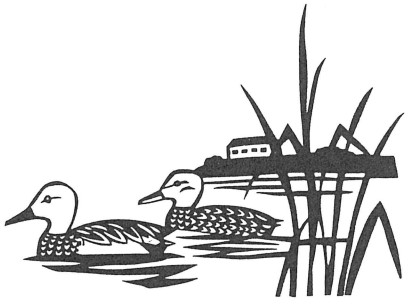
シリーズ バードウォッチング

ねりま自然のなかま 田中 勝子

団地の窓にあたっている夕陽が下りエレベーターのようにさがっていきます。空に宵の明星が輝き、木枯しにゆれる鈴懸の木の枝には鈴の形をした実が、シルエットでうかがえます。野鳥の森の池は、急に寒くなりました。

水際のアシ原の浮島にあがったカモ達も静かになって、時々、グエー、グエーとか、ピュル、ピュル……の音がするだけです。今冬の水辺のお客様の到着順は、コガモ(九月十七日)、ホシハジロ(九月三十日)、オナガガモ(十月二十日)、オカヨシガモ(十一月十一日)、

ハシビロガモ(十一月十二日)の順でした。カルガモはほぼ一年中います。冬だけのものもいます。この中でとりわけ人気のあるのがオカヨシガモです。というのも、オカヨシガモは広い水面を好み、他のカモ達とは少し離れて行動するので、まだ野性味が残っている——という印象があるからです。雄は褐色の頭に、灰黒色の体、尻尾の下部は真黒。雌は体全体が褐色で黒の斑点入り。決め手はくちばしで、雄は黒、雌はくちばしの周りがオレンジ色です。淡水ガモの仲間、逆立ちしてエサ(水草)を食べます。



なかには、風に乗り高く高く空の果てをめざすものもある。壮観というべきか、昼下がりのセピア色の幻想世界に閉じ込められた錯覚にひたる。乱舞に魅了され情景に酔った心は秘かに万葉と咲く桜を公園の四季のプロローグと見立て、命の終りを自ら演出しながら風に舞う落葉たちを鮮烈な晩秋のエピローグではなからうかと思ひ定める。

然し、これも一時で冬枯れの公園はすぐに寂寥の中に戻る。私は幻想の世界から現実の世界へと立ち降り公園をあとにする。人の去った公園は再び北風と裸樹と小鳥の天国なのだ。

文化展・運動会など文体の取り組み、住宅アンケートの中間報告、防災訓練の報告などのあと、自治委員さんから「自治会に入ったが、会員ステッカー、夏まつり券が配布されていない世帯がある。きちんと対応してほしい」「自転車は下に置いてあるだけでなく、廊下においてあったり、エレベーターホールに線を書いて置き場になっている例が見られる」などの意見がありました。

また、中間決算報告、歳末助け合い募金の提起もおこないました。

民生委員再任

団地内での福祉についての相談や活動を行っていたたく、民生委員(児童委員も兼ねる)については、平成元年十二月から三年間の委嘱が東京都知事から発令されました。

当団地では、今藤キチさん(七号棟一〇六号室) 加賀谷宏さん(十一号棟二〇八号室) が再任されました。よろしくお願いします。

水道・蛇口部分の故障や 壁紙のはがれなどが目立つ

集計結果 第一弾

△住戸内設備に関するアンケート▽
昨年十一月上旬に実施した「住戸内設備に関するアンケート調査」の概要がこのほどまとまりました。ゆり北全世帯七八七戸を対象に配布した調査用紙は、回収数二五二枚(回収率三二・〇%)と、関心の高さが反映されています。ご協力どうもありがとうございました。

アンケート内容は、選択方式とそれに附随した意見等の記述部分ですが、今回は第一弾として各項目ごとの集計結果の概要を掲載します。

(項目名の下の数値は、上段Ⅱ故障あり、中段Ⅱ修繕した、下段Ⅱ両者の合計の件数です)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、皆様の御協力により「より良いゆり北」を作ろうと広報部一同努力に努力を重ねてきたつもりです。今年も引き続き努力をしていくつもりですので何卒御協力のほどよろしくお願い致します。

■台所関係				■浴室関係				■トイレ関係			
水道・蛇口部分	32	13	13	給湯・蛇口部分	15	30	15	タンク・配管部分	30	18	6
流し・排水部分	32	8	4	換気扇	33	8	3	換気扇	33	5	14
換気扇	64	21	17	浴槽部分	48	38	24	照明	63	23	20
				シャワー部分	24	21	20	洗面関係			
				浴室ドア	20	21	20	水道・蛇口部分	28	16	11
								洗面器		12	3
								壁紙のはがれは、各種スイッチは1/4の家庭で故障または修繕			
								居室関係(たてつけ不良など含む)			
								壁(紙はがれ等)			
									85	20	65

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、皆様の御協力により「より良いゆり北」を作ろうと広報部一同努力に努力を重ねてきたつもりです。今年も引き続き努力をしていくつもりですので何卒御協力のほどよろしくお願い致します。